

今年10月21日に、『秋月博物館』がオープンしました。秋月の名所「杉の馬場」に面した、江戸時代の秋月黒田藩の藩校、稽古館の跡地に建設されたもので、その入り口の門は、当時の藩校で使用された冠木門を復元したものです。藩校は、各藩で設立され、それぞれ特色ある教育を行っていたと言われていいます。教育こそが藩の行く末、将来に重要な影響を及ぼすとして人材育成に力を入れていたようです。まさに、ふるさとを思い、子ども達に本物を感じてほしいと寄贈された土岐氏の心は、受け継がれていくのです。

秋月博物館は、重要文化財等を展示することができ、公開承認施設として、文化に対する理解と関心を高めることを目的とされたものです。

先人が秋月の自然といかにかかわり生きてきたのか、秋月の歴史をどのように受け継いできたのかを学び、秋月の宝、ふるさとの宝を守り伝える新たな発信の場です。

現在公開中の島原の乱を描いた屏風「島原陣図屏風」や黒田長政愛用の「銀箔押蛤脇立突筈形兜」の他、今後展示品の数々は、訪れた人にもふるさとを再発見させてくれるでしょう。



秋月中学校 3年 藤井拓実さん

秋月博物館の文化財等は郷土の宝です。



ふるさとの子ども達に  
素晴らしい美術品を

シリーズ 山城 第3回  
あら 荒 平 城



堀切 敵が尾根伝いに侵入するのを防ぐため、尾根を溝状に深く断ち割ったものです。  
礎石 城内にある建物の柱を支えた石とされます。

朝倉市の秋月城下町の北側の山中、標高228mの荒平山山頂に位置します。築城年月日は定かではありませんが、秋月氏が、戦いの本城として「古処山城」を普段住まう里城として「荒平城」を利用しました。現在は、杉が生い茂る雑木林になっています。豊臣秀吉が九州平定に来たおり、「荒平城」に滞在したことも知られています。その秀吉により秋月氏は、種実、種長親子を最後に日向に移封されました。

平成29年度朝倉市小学生自由研究 環境部門 環境アクション協議会会長賞

小学生が夏休みに取り組んだ自由研究の優秀作品の表彰式が、平塚川添遺跡公園で行われました。本年度の環境部門賞を紹介します。

**ダンボールコンポスト**  
小川 志歩さん 甘木小学校 3年

甘木小学校 三年一組 小川しほ

**【自由研究の概要】**  
去年、自分の畑を作ったので、畑作りのために肥料を作ろうと思いました。生ごみで肥料を作るので、地球にやさしく、ごみが減ってお母さんが喜ぶと思ってダンボールコンポストにしました。温度や重さの記録をとりました。

**受賞者の声**

受賞できてうれしいです。最初は大変だったけど、最後はペットのお世話をしている気持ちになりました。生ごみを入れた箱の重さが増えていないので、菌が生ごみを食べたのかな？ダンボールコンポストをする人が増えたらごみが減って、生ごみに対する考え方が変わるのではと思いました。



島原陣図屏風(戦闘図) 斎藤秋圃



銀箔押蛤→脇立突筈形兜

**黒田家の遺品**

秋月黒田家は、初代福岡藩主、黒田長政の三男、長興を初代に明治維新まで秋月藩5万石を治めました。質素倹約を旨とし、武芸や学問に重きをおいた初代の気風を受けつぎ、第8代長舒の時代には後に藩校となる「稽古館」が設けられ秋月の文化・教育を大いに振興しました。この時代、秋月文化の担い手として絵師「斎藤秋圃」や藩校で教育に尽力した「原古処」等が活躍しています。遺品には、絵や書、武具、日用品など多岐に渡り、戦国時代の緊迫した世情から江戸時代の平和な世までの武家の暮らしを知ることができます。

鎧兜や武具、武器は戦時の実用品であるにもかかわらず、その美しさから現代では、美術品や工芸品として鑑賞することができます。



霊峰不二 横山大観



湯浴する女 オーギュスト・ルノワール

**土岐コレクション**

横浜の開業医、故土岐勝人氏の寄贈した作品です。土岐家は秋月で350年続いた家老の家系でした。シベリアで抑留された経験を持ち帰還後、美術品の鑑賞と収集に励みました。コレクションの範囲は広く、日本画・洋画・彫刻・版画・工芸から墨蹟など多岐に渡り、海外のルノワール、ピカソや日本の横山大観、岸田劉生等、巨匠の作品を中心に250点にも及びます。

「郷土の人々に有名な作品を鑑賞してもらい、そこから何らかの心の糧をえられれば」と純粋な郷土愛からこれら美術品等を寄贈されています。

毎月第2週は  
**きらきら美花美化**  
週間  
きららちゃん

掲示期間 平成29年12月1日～平成30年2月28日まで